

CREATE LASTING IMPACT

Rotary
第2820地区



国際ロータリー第2820地区 2026-2027年度

会長エレクト・ラーニングセミナー

国際ロータリー 2026-2027年度

会長 **オンラインカ・ハキーム・ババロラ**

日 時: 2026年3月21日(土)

場 所: ホテルニューつたや

ホスト: しもだて紫水ロータリークラブ

ガバナー **瀬戸 隆海**

ガバナーエレクト **笠倉 勉**

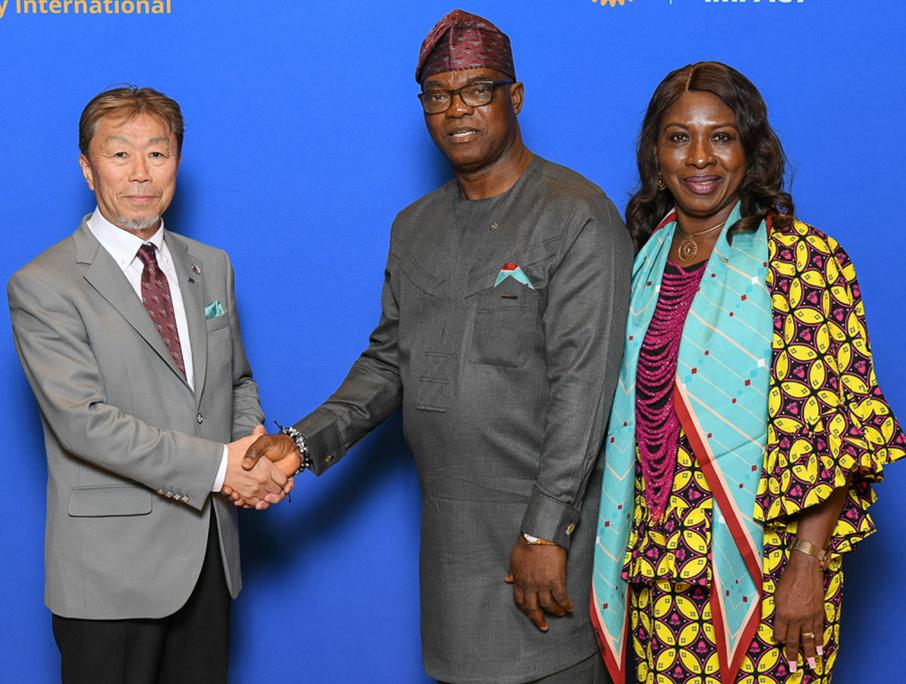
地区ラーニングFT **大高 司郎**

持続可能な
インパクトを
生み出そう

Olayinka H. Babalola
2026-27 President
Rotary International

Rotary 

CREATE
LASTING
IMPACT





R.I. 会長メッセージのスピーチ

2026-2027年度
国際ロータリー会長

オンラインカ・ハキーム・ババロラ

(トランス・アマディRC：ナイジェリア)

プロフィール

オンラインカ・ハキーム・ババロラ
トランス・アマディロータリークラブ
ナイジェリア・リバーズ州

1988年に大学で工学の学位を取得。シェルPLCで要職を歴任するなど、石油・ガス業界で25年間勤務し、4大陸でプロジェクトを実施。リビエラ・テクニカル・サービス社（石油・ガスインフラ供給会社）とリード・アンド・チェンジ・コンサルティング社（管理職コーチングと組織業績アドバイザーグループ）の2社を設立。

ババロラ氏が所属する専門職団体には、ナイジェリア技術者協会、ナイジェリア安全専門家協会、変革管理専門家協会などがある。経済・社会政策について政府に意見を提供する故郷イバダンの組織、「ジェリコ・ビジネスメン・クラブ」のメンバーとなっている。

ローターアクターとして10年間活動し、1994年からはトランス・アマディ・ロータリークラブの会員。2011-12年度に地区ガバナー、2018-20年度にRI理事、2019-20年度に副会長を務めた。2017-23年度にEnd Polio Now：歴史をつくるカウントダウンキャンペーン委員会（2017-20年度副委員長）、2013年～現在はナイジェリア・ポリオプラス委員会（2016年～現在アドバイザー）での役職を歴任。

妻ブレバさんと共にポートハーフコート市に在住。冠名基金とアーチ・クランフ・ソサエティを通じてロータリー財団を支援。シェルターボックスUKの評議員としてボランティア活動も行っている。ポリオのない世界のための地域奉仕賞、RI超我の奉仕賞、ロータリー財団功労表彰状を受賞。

親愛なるロータリーの友人とファミリーの皆さま、おはようございます！2026年国際協議会に皆さまを歓迎し、地区ガバナーエレクトとなられたことをお祝いできることを光栄に思います。

世界中からロータリーのシニアリーダー、スタッフ、そして卓越した会員が集結し、皆さまが来年度に向けて準備を整えるお手伝いをいたします。また、この場を、ぜひ同期の仲間と交流を深める機会としてください。ロータリーの国際性を体験しなければ、会員としてのメリットを十分に享受しているとは言えません。今週、皆さまはロータリーの世界を体感することになります。

この機会を逃さないでください。たくさんの人と知り合い、友情を育みましょう。温かい言葉が、思いもよらないところへと皆さまを導くでしょう。

私が出会ったロータリー会員は、出身がどこであれ、親切で明るく、すぐに親友になれる人ばかりです。

私たちのもう一つの共通点は、ロータリーが私たちを変えたということです。私たちという人間を形づくり、より良い人間にしてくれたのです。変化はここから始まるのです——奉仕を受ける方々だけでなく、私たち自身の中からも。

私たちのビジョン声明を考えてみてください：「私たちは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人びとが手を取り合って行動する世界を目指しています」



私たちは「世界を変える」ことをよく話題にします。ポリオ根絶や平和構築について語ります。

地域社会を変えることについて話します。そこには無数の素晴らしい実例があります。しかし、私はこう問います。「自分自身の中に持続可能な変化をどう生み出しているのだろうか」

ロータリー会員にこの質問をすると、たいてい場が静まり返ります。

その沈黙が物語るのは、ロータリーが自分自身をどう変えたかについて、私たちはあまり考えないということです。

- ロータリーが・どのように私たちのキャリアを変えているか
- ・どのように私たちのビジネスを変えているか
- ・どのように私たちの家族を変えているか

それは最も暗い時代における光にもなります。米国ノースカロライナ州のキャリーキルデア・ロータリークラブ会員、ティア・コッパスさんにとってもそうでした。

2021年、ティアさんの夫は、19カ月に及ぶ闘病の末、癌で亡くなりました。夫の介護とCOVID-19のパンデミックによる隔離生活により、ティアさんは19カ月間、ほとんど誰とも会っていませんでした。

そんな時、ティアさんが所属するロータリークラブの親友が電話をかけてきてこう言いました。「来週木曜日の夕食会に来てください。あなたに会いたいです」

緊張と不安の中、ティアさんはロータリーの夕食会に足を踏み入れました。しかし、席に着く間もなく、初めて会う新会員が彼女を抱きしめ、こう言ってくれました。「来てくれて本当によかった！」

その瞬間、ティアさんは、自分が一人ではないこと、自分にはコミュニティがあることに気づきました。ロータリーこそ、彼女のコミュニティだったのです。

その夕食会の後、ティアさんはこの体験が自身に与えたインパクトについて、こうつぶっています。「ロータリーは、あなたが最も必要とする時に、静かに、愛情をもってそばにいてくれるのです。普段は自分が“与える”側にいたとしても、“受ける”側になってもいいんだと教えてくれるのです」

そしてこう続けます。「ですから、つながりと奉仕、居場所を求めているなら、ロータリーがその答えとなるでしょう」。この言葉に共感できる方も多いと思います。

友人の皆さま、ロータリーは世界を変えるために活動していますが、ロータリーが自分自身をいかに変えたかを伝えることを恐れないでください。

経験から言えることですが、ロータリーは私を深く変えました。

私は十代でローターアクターとして活動を始めました。恵まれた環境で育ち、良い教育を受けましたが、そのような機会を得られない人は大勢いました。

気づきをもたらしたのは、クラブの識字プロジェクトでした。地域社会の人びとに読み書きを教える支援をしました。母国の同世代の人たちが読み書きのスキルを持たずに成長すべきではないと考えました。

このプロジェクトが私を変えました。その変化は、教育へのアクセスを拡大するという責任を伴うものでした。この取り組みは、今日において特に重要です。ユニセフの推計によると、教育資金の削減により、今年末までに世界で約600万人の子どもが退学を余儀なくされる可能性があります。この教育危機に対処するには、「寄付」から「奉仕」へと意識



を変える必要があります。

南アフリカのナイズナに素晴らしい事例があります。そこでは、ロータリークラブが教育分野で持続可能なインパクトを生み出しています。ナイズナ・ロータリークラブは2019年、地域のパートナーと協力し、2025年までに地域のすべての子どもが質の高い幼児教育を受けられるようにする方法を模索しました。地域社会からの協力も得て、問題の理解に努め、行動を起こしました。

その結果生まれたプロジェクトは、恵まれない地域の女性たちの力を解き放ち、幼児教育センターの開設と運営を実現させました。今日、このプロジェクトは何千もの子どもと家族を支援しています。今後も何世代にもわたり、教育を提供し続けるでしょう」

このインパクトを世界のほかの地域でも再現できれば、地域社会から信頼と評価を得ることができます。

そして、より多くの地域社会がロータリーを信頼すれば、入会したいという人が増えます。しかし、まずはそのような人びとを受け入れなければなりません。

当たり前のように聞こえるかもしれませんが、これは私たちが長年苦勞している課題です。若きローターアクターとしてロータリーに入会しようとした時、私は抵抗に遭いました。ある日、私はクラブの昼食例会に行きました。以前にも招待を受けて参加したことがありました。若いローターアクターだった私を見て、そのクラブの会長は「ここで何をしているんだ？」と言いました。

ロータリーに入会するためだと、私は答えました。会場にいた全員が振り向き、私を見ました。彼はこう言いました。「何という厚かましきだ！ただ入会できるわけがないだろう。招待が必要だ」と。

そこであきらめることもできましたが、私はこう言い返しました。「子どもが親の家に入るのに招待が必要だとは知りませんでした」

会場が沈黙に包まれる中、ソジ・フォウォデさんというロータリアンがこう声を上げました。「インカ、私が君を推薦するよ」

こうして私はロータリアンになったのです。

しかし、もしソジさんが声を上げてくれなかったら？私が会員になることはなく、今日こうして皆さまの前に立つこともなかったでしょう。

当時よりは良くなりましたが、一部のクラブは、世界をオープンに受け入れるどころか、今も閉ざされたままです。

若い人の意見が尊重されなかったり、考えや背景が異なる人が歓迎されなかったりすることがあります。このような状況では、入会する見込みのある人びとを入会前に失ってしまうことになるのです。

ロータリーにはもっと多くの会員が必要です。理事会は、2030年までにロータリアンを125万人、ローターアクターを12万5千人にするという会員増強目標を掲げています。この目標の達成は、私たち全員から始まります。

ですから、この国際協議会の開幕にあたり、皆さまには、人びとをどのように迎え入れるかを考えていただきたいと思います。例会や奉仕プロジェクトでの皆さまの態度ひとつで、誰かのロータリーのストーリーが始まるかもしれないし、終わるかもしれないのです。

これが、私たちが目標を達成する方法です。皆さまが地区の目標達成を導けば、ロータリー全体の目標を共に達成できます。しかし、地区の目標が何であれ、特に会員増強につい



ては、ご自分のベストを超えていただきたいと思います。

従来、最も多くの資金を集め、最も多くの会員を集め、最も大規模なプロジェクトを実施するクラブが称賛されてきました。

これは重要なことです。ただし、最も健全な競争は、クラブ間ではなく、過去と現在との間であるべきです。

過去5年～7年を振り返っていただくよう、それぞれの地区とクラブにお願いします。会員増加で最高を記録した年度はいつでしたか？ファンレイジングで最高を記録した年度はいつでしたか？最も大きなインパクトをもたらしたプロジェクトは何でしたか。

それらの年度がわかったら、その最高記録を超えていただきたいのです。

皆さまは、人生のうち1年間を地区ガバナーとして過ごします。皆さまがリーダーを務めるこの1年を振り返った時、人びとにどのような年度であったと言ってもらいたいのですか？人びとがいかに多くのことを覚えているかに驚くでしょう。

最高だった年度の入会者が10名だったなら、少なくとも11名を目指すべきです。数年前に5万ドルを募金したなら、次年度は5万5千ドルを目指してみてください。ほかよりも優れていることを証明するためではなく、自分たちが最高の形になるためです。

こんな格言あります：

「グッド」から「ベター」、そして「ベスト」へ。

歩みを止めてはならない。

「グッド」が「ベター」になり、「ベター」が「ベスト」になるまでは。

この考え方は、クラブや地区に当てはまるのと同様、私たち自身にも当てはまります。

「変化」と「インパクト」を常に意識するマインドセットが必要です。

「変化」と「インパクト」は同じではないということ覚えておくことが大切です。変化は始まりに過ぎません。インパクトこそが永続するのです。

ロータリーの大規模プログラム補助金による「健康な家族のための協力」が数年間実施されているナイジェリアでの事例を紹介します。

プログラム開始から間もない頃、私は試験的都市にある保健センターを訪問しました。自分の目で見たかったのです。

主任医師は、私がロータリー会員であるということだけ知っていました。

彼は私を温かく迎え、約18カ月前からロータリーと協力していること、協力の開始後間もなく乳児死亡率と妊産婦死亡率が急激に低下したことを話してくれました。

ロータリーが介入する前は、多くの女性が妊婦健診を避けていました。しかし、健診は母子ともに安全な出産に欠かせません。ロータリーの支援により、妊婦が健診に通うシステムが整い、地域社会からの協力も得られました。受診率がアップし、死亡率が下がりました。

医師と話した後、私は、このプロジェクトが今後数十年にわたりナイジェリア全土で命を救い続けるであろうことを、はっきりと見ることができました。これこそが、私が「持続可能なインパクト」と呼ぶものです。

ロータリー会員である私たちは、より良い未来というビジョンを共有しています。それは、ポリオのない世界、平和な世界、誰もが質の高い教育を受けられる世界です。

そのビジョンを現実にするには、自身の内なる変化を意識し、解き放たなければなりません。「成果」だけでなく、「インパクト」を重視すべきです。

ティアさんがロータリークラブの夕食に招待されたことの「成果」は、彼女は孤独を感じ



なくなりました。しかし、その「インパクト」は、彼女とクラブの仲間が生涯にわたって希望とコミュニティ意識を持ち続けることです。

ナイジェリアでの「健康な家族のための協力」の「成果」は、乳児と妊産婦死亡率の低下です。しかし、その「インパクト」は、今日だけでなく、世代を超えてずっと、子どもたちが母親の愛情と導きのもとで育つということです。

私たちは、2030年の会員増強目標を必ずや達成します。その達成による「成果」は、世界のロータリー会員が増えることであり、ロータリーがある場所では良いことが起こることを私たちは知っています。その「インパクト」は、今後も長年にわたり、より強くて効果的なロータリーが築かれることです。

友人の皆さま、その未来は私たちから始まります。しかし、それは私たちのロータリーでの活動が終わった後もずっと続かなければなりません。この理由により、2026-27年度の会長メッセージは「持続可能なインパクトを生み出そう」です。

持続可能なインパクトを生み出す方法は数多くあります。世界的には、ポリオ根絶という約束を果たすこと、そしてロータリー平和センターの恩恵を最大限に活かすことを意味します。クラブと地区では、より多くの人を迎え入れ、2030年会員増強目標の達成に向けて役目を果たすことを意味します。

そして皆さまは、人びとが好奇心を持ち、問いかけをし、ロータリーファミリーに与えられた無限の可能性を受け入れて自分自身の中に持続可能なインパクトを生み出せるよう、インスピレーションを与えることができます。

結果を出し、自分の中に持続可能なインパクトを生み出すことへの意欲をクラブと会員にどう喚起できるかを考えてください。

進歩は自ずと起きるものではありません。それ自身の内なる変化から始まります。

親愛なる地区ガバナーエレクトの皆さま、成功とは向こうからやって来るものではありません。自分でつかみに行かなければならないのです。

自分を変えられれば、クラブと地区を変えられます。地区を変えられれば、地域社会を変えられます。そして、地域社会を変えられれば、世界で、地域社会で、自分自身の中で、持続可能なインパクトを生み出すことができます。

朋友の皆さま、ありがとうございます。国際協議会へようこそ。

オラインカ・ハキーム・ババロラ
2026-27年度会長
国際ロータリー

2026-27年度国際ロータリー

オラインカ・ハキーム・ババロラ会長メッセージ

持続可能なインパクトを生み出そう
(CREATE LASTING IMPACT)



会長エレクト・ラーニングセミナーに寄せて

2025-2026年度

国際ロータリー第2820地区

ガバナー **瀬戸 隆海** (水海道RC)

本日は、会長エレクト・ラーニングセミナーにお集まりいただき、ありがとうございます。いよいよ笠倉年度の実質的なスタートであり、各クラブ会長年度のスタートでもあります。笠倉年度は、地区の運営の在り方を大きく変化しようとしております。変化の元になったのは、私が各クラブに訪問させていただき、各クラブの意見を謙虚に受け止め、昨年急逝いたしました藤木氏と議論を重ね、そして笠倉エレクトが藤木氏の意向を引き継いだ結果であります。ただ引き継いだだけではなく、それだけの大きな変化には大きなエネルギーが必要であります。

さて、2026-27年度のRI会長メッセージができました。つまり皆様方の年度の指針になるわけであります。「CREATE LASTING IMPACT (持続可能なインパクト)」、そして「世界をオープンに受け入れるロータリー」です。

今回のメッセージは、2025-26年度のUNITE FOR GOODと、どう関連性があるのでしょうか。2025-26年度から会長テーマを廃止し、当面は同じ方向性のメッセージが出ると聞いていました。UNITE FOR GOODから次年度は CREATE LASTING IMPACTに変わりました。表現は違っても、これは別々のメッセージではなく、むしろ「同じ方向を向いた連続したメッセージ」と捉えるべきだと思います。

UNITE (団結) は目的ではなく、手段です。力を合わせることで、より大きな「良いこと」を行い、その成果を“未来に残る価値”へと昇華させていく。その到達点こそがIMPACT ではないでしょうか。つながりが信頼を生み、歓迎の姿勢が参加を生み、行動が変化を生むのです。ロータリーの価値は、そこで生まれる「持続可能なインパクト」にあるのでしょうか。ババロラ会長エレクトの発信は、まさにその一点に集約されていると感じました。また、「変化」と「インパクト」は同じようで全く異なり、変化は“きっかけ”、インパクトは“未来に残る結果”なのだと、強く感じました。

私たちが取り組む奉仕や会員増強も、実施した瞬間の成果で終わらせず、地域の中で根づき、継続し、次の世代へつながっていく形にしてこそ意味があります。変化に満足するのではなく、その変化を積み重ねて「持続可能なインパクト」に高めていく……。この視点を常に忘れずに行動していきたいと思っております。

各クラブにおいても今までの体制で良いのか、大きな変化が必要なのか、今回のセミナーをもとにクラブに持ち帰っていただき持続可能なインパクトのあるクラブへの大変革をしていただきたいと思います。さあ、今からはクラブ会長の手腕を試す時が来ました。



会長エレクト・ラーニングセミナーに寄せて

2026-2027年度
国際ロータリー第2820地区
地区ラーニングファシリテーター
大高 司郎 (高萩RC)

本日は、会長エレクト・ラーニングセミナー（PELS）にご参集いただき、誠にありがとうございます。地区ラーニングファシリテーターとして、この学びの機会を皆さまと共有できますことを、大変うれしく、また心強く感じております。

PELSは、次年度にクラブ会長に就任予定の会長エレクトを対象として実施される、就任前の公式研修です。会長として求められる役割と責任を正しく理解し、クラブ運営を円滑に進めるために必要な知識や心構えを身につけていただくことを目的としています。

本セミナーでは、国際ロータリーの理念や方針、会長の職務、クラブ運営の基本、年度目標の立て方、地区ガバナー方針などについて説明が行われ、次年度に向けた準備を体系的に学んでいただきます。また、他クラブの会長エレクトとの交流を通じて、情報交換やネットワークづくりが図られ、地区全体としての一体感を醸成する貴重な機会ともなっています。PELSは、会長としての一年間を成功に導くための重要な基盤を築く学びであり、次年度会長にとって欠かすことのできない場であります。

昨年度までは1.5日間で開催しておりましたPELSですが、今年度は当地区として初めての1日開催となります。限られた時間の中ではありますが、より集中した学びを深めていただける、有意義で実り多いセミナーとなりますことを心より祈念いたします。

本日ご参加の会長エレクトの皆さま、「次年度はすでに始まっています」。十分な計画をもって会長年度のクラブチームを築き上げ、しっかりと備えたクラブづくりを目指してください。

また、皆さまには、会長に就任する前に、My ROTARYにあるラーニングセンターにおいて、クラブのリーダーのコース「クラブ会長の基本」および「クラブ会長（中級）」の学習プランを修了していただくことをお願いいたします。ラーニングセンターには、ご自身のペースで基礎的な情報を学ぶことができる、多様で実践的なコースや学習プランが用意されています。本日の学びを起点として、日々のラーニングを重ねていただければ幸いです。学び続ける会長の背中には、必ずクラブを前向きに動かします。

本日の学びが、皆さま一人ひとりの中に「会長としての自覚」と「行動への決意」を芽生えさせ、それぞれのクラブに新たな挑戦と成長の流れを生み出す原動力となることを、心から期待しております。



会長エレクト・ラーニングセミナーに寄せて

2025-2026年度

国際ロータリー第2820地区

ガバナーエレクト **笠倉 勉** (しもだて紫水RC)

ロータリークラブ会長エレクトの皆様、本日は本セミナーに御出席を賜り、誠にありがとうございます。

私は2026-27年度、僭越ながら地区の先頭に立つ立場として、クラブを支え導く責任を担わせていただきます。次年度、それぞれのクラブを率いられる皆様と志を同じくし、魅力と活力にあふれた、より強固なクラブづくりを共に推進して参りたいと考えております。

本セミナーの開催にあたりましては、瀬戸ガバナー、大高ラーニングファシリテーター、高橋戦略委員長、そしてパストガバナーの皆様のご指導のもと、準備を重ねて参りました。

本セミナーは、国際ロータリーの方針を正しく理解し、クラブ運営に必要な知識を深めるとともに、リーダーとしての自覚と意欲を高めることを目的としております。リーダーシップの強化はもとより、他クラブとの交流や情報共有を通じて相互に学び合う、極めて意義深い機会でもあります。

私は本年1月11日から15日まで、米国オーランドで開催された国際協議会に出席してまいりました。世界各地から集まったロータリアンとの対話を通じ、次年度の方向性と自らの責任の重みを改めて胸に刻んでまいりました。

オンラインカ・ハキーム・ババロラRI会長エレクトは、開会本会議において、2026-27年度のRIメッセージとして「持続可能なインパクトを生み出そう」を力強く宣言されました。

会長エレクトは、「ロータリーは私たちを変えました。私たち一人ひとりを形づくり、より良い人間へと導いてくれました。変化はここから始まるのです。奉仕を受ける方々だけでなく私たち自身の内面からも変化が生まれるのです」と述べました。

私たちロータリアンは、より良い未来を築くという共通のビジョンを抱いています。その理想を現実のものにするためには、自らの内なる変化を意識し、単なる「成果」にとどまらず、「インパクト」を重視する姿勢が求められます。

自分が変われば、クラブが変わる。クラブが変われば、地区が変わる。そして地域社会も変えていくことができるのです。

智恵を出し合い、洗練された簡素化を進めながら、共に新しいロータリーの姿を築いてまいりましょう。



2026-27年度の国際ロータリーとロータリー財団の年次目標

ロータリー行動計画

私たちは世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人々が手を取り合って、行動する世界を目指しています。

より意義あるつながりを育み、奉仕を通じてより持続可能な変化をもたらすためにロータリーを導くのが、私たちの戦略計画である「ロータリー行動計画です。」

この四つの優先事項を指針とすることで、より健全なクラブをつくり、すべての人が積極的に参加できる体験を提供し、行動を通じて持続的な変化を生むために人々を結びつけるという国際ロータリーとロータリー財団のビジョンを実行することとなります。

優先事項1 「より大きなインパクトをもたらす」

- ・ポリオを根絶し、残された遺産を活用する。
- ・ロータリーのプログラムおよびロータリーが提供する体験に焦点を当てる。
- ・活動成果を挙げ、それを測る能力を高める。

優先事項2 「参加者の基盤を広げる」

- ・会員基盤と参加者の基盤を広げ、多様化する。
- ・参加者がロータリーを体験する新しい方法を作り出す。
- ・クラブの柔軟性とアピール力を高める。
- ・インパクトとブランドに対する理解を築く。

優先事項3 「参加者の積極的なかわりを促す」

- ・クラブが会員の積極的参加を促せるよう支援する。
- ・個々の参加者をよりよく理解し、サポートする。
- ・個人的/職業的なつながりを築く新たな機会を提供する。
- ・リーダーシップ育成とスキル開発のための学びの機会を提供する。

優先事項4 「適応力を高める」

- ・研究と革新、およびリスクをいとわない文化を築く。
- ・ガバナンス、構造、プロセスを合理化する。
- ・意思決定におけるより多様な考え方を育む。



2026-2027年度 年次目標

■地区ガバナーズローガン

エンジョイ ロータリー!!! そしてスマートに…

【解説】

「楽しくなければロータリーでない」

この言葉を、皆さんもこれまで何度も耳にしてこられたことでしょう。

では今、私たちは本当にロータリーを楽しめているのでしょうか。

かつてのロータリー活動には、心のゆとりがありました。奉仕活動や親睦活動はもちろん、例会や各種の集まりが生活の一部として自然に溶け込み、多くの仲間がそれぞれの立場でロータリーライフを楽しんでいました。

しかし近年、プログラムやプロジェクトの増加により活動が複雑化し、「楽しさ」が薄れてきてはいないでしょうか。会員同士のコミュニケーションが減り、退会者が増えていると感じる場面も少なくありません。今こそ原点に立ち返り、「楽しさ」「仲間との時間」「人間味のあるロータリー」を取り戻したいと考えます。

そして、自クラブをインパクトのある、強い魅力的なクラブに育てていきましょう。

現在、地区の財政状況は厳しさを増しています。

各クラブにおいても、例会費の高騰や円安の影響により年会費の値上げが難しく、例会回数を減らすなど、さまざまな工夫を重ねている状況ではないでしょうか。

一方で、地区活動の充実を図る中、会議や委員会活動が増加し、会場費や登録費などの負担が結果として、各クラブに重くのしかかっている側面も否めません。

今後は、活動の意義を大切にしながらも、効率的で無理のない運営方法を模索していくことが必要です。

地区内事業については、必要なものはしっかりと残し、割愛や縮小が可能な部分は見直し、無理のない持続可能な形へと進化させてまいります。

スマートとは、「賢い」「手際がよい」「恰好よい」という意味もあります。智恵を出し合い、洗練された簡素化を進めながら、共に新しいロータリーの姿を築いていきましょう。



【地区数値目標】

①会員数

- ・ロータリークラブ (RC・RSC)
各クラブ2名純増
地区大会までに各クラブ1名以上増員
- ・ローターアクトクラブ (RAC)
各クラブ1名以上純増
- ・新クラブ設立
RC・RSC・RAC・IAC 新設の積極的推進

②ロータリー財団寄付

- ・年次基金：150ドル／人
- ・ポリオプラス基金：30ドル／人
- ・恒久基金（ベネファクター）：各クラブ1名以上
- ・ポリオ・プラス・ソサエティ（PPS）：現PPS会員数＋各クラブ1名以上
- ・ポール・ハリス・ソサエティ（PHS）：地区100名以上を維持

③米山記念奨学会寄付

- ・会員一人当たり 25,000円
普通寄付：5,000円
特別寄付：20,000円

④My ROTARY 会員登録

- 全会員の90%以上 登録



【地区行動目標】

① クラブ優秀賞へのチャレンジ

国際ロータリーが定める目標の中からクラブが任意で選び、達成することで、その年度の優れた活動を称える賞です。クラブの活性化と地域社会・国際社会への貢献を促進します。

今年度も地区内すべてのRC、RACが受賞できるよう取り組んでいきましょう。

② 会員維持率向上と増強

会員増強と維持は、今年度も最重要課題です。ポイントは「増強は委員会任せにしない」ということです。会員一人ひとりが増強委員長という意識を持っていただくことが成功の鍵になります。また、退会防止の最大の対策は「例会が楽しいこと」です。参加して良かったと思えるクラブ体験が会員維持に繋がります。地域に合った新しいクラブの形づくりも、ぜひ前向きに検討してください。

③ ポリオ根絶のためのプロジェクト

ポリオ根絶は、ロータリーが世界に誇る最優先事業です。地区では、世界ポリオデー（10月24日）に合わせてポリオ根絶イベントを開催します。今年で3年目となる、地区の大切な行事です。ぜひ多くの会員の皆さまに参加していただけるようお願いします。

④ 公共イメージの向上

ロータリーのイメージは、広報だけで作られるものではありません。会員一人ひとりがロータリーを楽しんでいる姿が、地域社会に一番伝わります。その結果が、信頼や会員増強にもつながります。あわせて、ロータリーロゴの正しい使用についてもご協力をお願いします。

⑤ 青少年育成事業の推進

未来を担う若者の育成は、ロータリーの大切な使命です。インターアクト、青少年奉仕、RYLA、青少年交換など、それぞれのクラブでできる形で支援と協力を続けていきたいと思えます。

⑥ ローターアクトクラブの活性化

ローターアクトクラブは、ロータリーの未来そのものです。スポンサークラブとしての関わりを大切にしながら、奉仕活動や親睦活動を一緒に楽しんでください。地区内の交流会や、RAC合同ガバナー公式訪問も実施しますので、ご理解とご協力をお願いします。



⑦ My ROTARYの活用と「ロータリーの友」

地区ではMy ROTARYの登録率は高いのですが、「登録したまま使っていない」という声もよく聞きます。情報収集ツールとしての便利さと利点を共有してください。また「ロータリーの友」も、冊子・電子版ともに内容が充実していますので、積極的に活用してください。

⑧ RLIへの積極的参加

RLI (Rotary Leadership Institute) は、ロータリーで最も体系的なリーダー育成プログラムです。参加された方は、必ずクラブに良い影響を持ち帰ってくれます。将来のクラブリーダー育成のためにも、積極的に参加をお願いいたします。

⑨ メークアップの奨励

他クラブへのメークアップは、学びと刺激の宝庫です。卓話、例会運営、人との出会いなど、得るものがたくさんあります。オンラインも活用しながら、ぜひ積極的に他クラブを訪問し、ロータリーを楽しんでください。

⑩ ロータリー希望の風奨学金支援

「ロータリー希望の風奨学金」は、東日本大震災の災害遺児を支える大切な事業です。地区公式訪問例会では、一人1,000円の任意寄付をお願いしています。趣旨をご理解いただき、無理のないご協力をお願いします。

⑪ 国際大会への参加

今年度の国際大会は、2027年5月22日～26日、ドバイで開催されます。なかなか訪れる機会のない場所です。国際ロータリーを肌で感じる絶好の機会ですので、ぜひ参加をご検討ください。

⑫ ICC（国際共同委員会）の活用

ICCを活用し、国際理解と平和推進を進めていきます。今年度はウクライナ地区と協議を行い、支援内容を決定していく予定です。国際奉仕への関心を高めていきましょう。

⑬ パートナーシップの推進

クラブ単独ではなく、地域社会、他RC、RSC、RAC、IACと連携することで活動の幅は大きく広がります。人間的・職業的成長、そして国際的なつながりを深める一年にしましょう。



実行委員長のご挨拶

国際ロータリー第2820地区

会長エレクト・ラーニングセミナー実行委員長

杉山 光 (しもだて紫水RC)

笠倉ガバナー年度を迎えるにあたり、第2820地区会長エレクトの皆様をお迎えし、会長エレクト・ラーニングセミナーを開催できますこと、心より感謝申し上げます。そして、力強いご助言とご指導を賜ります、ガバナー瀬戸隆海様、地区ラーニングファシリテーターの大高司郎様、パストガバナーの皆様、地区役員の皆様、本日はご出席をいただき誠にありがとうございます。

このセミナーは、笠倉ガバナーエレクトのスローガン「エンジョイ ロータリー!!! そして スマートに…」のもと、ガバナーエレクトが国際協議会で学んだこと、地区運営方針などを会長エレクトの皆様にお伝えするものです。また、ラーニングの基盤となりますご講演には、第2840地区パストガバナー、2025-28年度第1地域ロータリー会員増強コーディネーター田中久夫様（高崎RC）をお迎えしました。従来は一日半のセミナーでしたが、今回は一日に時間は短縮しました。しかし内容は従来のセミナーと変わらず、学びの多い一日となることと思います。

本日のセミナーを通して、皆様と情報を共有し、ロータリーの理解を深め、2026-27年度が、会長エレクトの皆様にとって素晴らしい年度になりますようご祈念申し上げます。



歓迎のご挨拶

国際ロータリー第2820地区

ホストクラブ会長

高田 昌明 (しもだて紫水RC)

地区内全53クラブの会長エレクトの皆様、ようこそ筑西にいらっしゃいました。ホストクラブ会員一同歓迎申し上げます。本年7月1日より始まる笠倉ガバナー年度に向けて、本日。会長エレクトセミナーが開催されます。

瀬戸隆海ガバナー、地区ラーニングファシリテーター大高司郎様をはじめとするパストガバナーの皆様のご出席を賜り本セミナーが開催されますことに深く御礼申し上げます。

私が入会前の萩原パストガバナー以来二人目のガバナー輩出となります。ご期待に応えられるよう第5分区の皆様のご支援をいただきながらホストクラブ全員で取り組んで参ります。何分不慣れな為至らない点多々あるかと存じますが、ロータリーの友情に免じてご容赦いただきたいと思います。ご参加の皆様にとって実り多いセミナーになりますように祈念いたしまして、ホストクラブ会長の挨拶に代えさせていただきます。



講師紹介



国際ロータリー第2840地区
 パストガバナー (2017-2018)
 たなか ひさお
田中 久夫 (高崎RC)

- 【職業分類】** 大学教授
- 【現 職】** 高崎経済大学名誉教授・博士 (経営学)
 新潟産業大学経済学部特任教授
 さくらジャパン税理士法人 (高崎市) 税理士
 さくらジャパン社会保険労務士法人 (同) 社会保険労務士
- 【その他】** 日本ペンクラブ (PEN) 会員
 いしかわ観光特使 その他
- 【ロータリー歴】**
- 〈クラブ〉 1998年4月 高崎ロータリークラブ入会
 2014~15年度 会長
- 〈地区〉 2017~18年度 ガバナー
 2018~ パストガバナー
- 〈その他〉 ベネファクター
 ポール・ハリス・フェロー (PHF)、メジャードナー
 ポール・ハリス・ソサエティ (PHS)・メンバー
 ポリオ・プラス・ソサエティ (PPS)・メンバー
 米山功労者メジャードナー
- 【ロータリーに関連する現在の役職】**
- ・国際ロータリー第1地域ロータリー会員増強コーディネーター (RMC)
 - ・(公財)ロータリー米山記念奨学会 常務理事
 - ・(公財)米山梅吉記念館 理事
- 【ロータリーに関連する著書】**
- ・『ロータリークラブに入ろう!』 幻冬舎 (2021年6月刊)
 - ・『そうだったのか?! ロータリークラブ!!』 幻冬舎 (2025年12月刊)
- 【その他 専門著書】**
- ・『商法と税法の研究』 森山書店
 - ・『税務会計論序説』 税務経理協会 その他



2026-2027年度 国際ロータリー第2820地区 「会長エレクト・ラーニングセミナー」プログラム

2026年3月21日 (土)

会場：ホテルニューつたや
敬称略

8:30~9:00	登 録		
9:00~9:20	開会本会議	司 会	大吉 真琴・生井 香織
	点 鐘	ガバナーエレクト	笠倉 勉 (しもだて紫水)
	開会のことば	実行委員長	杉山 光 (しもだて紫水)
	国歌ならびにロータリーソング		
	歓迎のことば	ホストクラブ会長	高田 昌明 (しもだて紫水)
	地区役員紹介	ガバナーエレクト	笠倉 勉 (しもだて紫水)
	ガバナー挨拶	ガバナー	瀬戸 隆海 (水海道)
9:20~9:50	RI会長メッセージと次年度地区方針発表	ガバナーエレクト	笠倉 勉 (しもだて紫水)
9:50~10:20	クラブ会長の役割と責務、3yearsターゲットについて	地区ラーニングファシリテーター	大高 司郎 (高萩)
10:20~10:40	危機管理について	危機管理委員長	大久保博之 (水戸)
10:40~10:50	オープン例会について	地区ラーニングファシリテーター	大高 司郎 (高萩)
10:50~10:55	講師紹介	ガバナーエレクト	笠倉 勉 (しもだて紫水)
10:55~11:55	講演会「新クラブ会長に期待すること」	2025-28年度第1地域ロータリー会員増強コーディネーター	田中 久夫 (高崎)
11:55~12:05	質 疑 応 答		
12:05~12:10	諸事お知らせ	司 会	大吉 真琴・生井 香織
12:10~13:10	昼 食		
13:10~14:00	グループディスカッション		
14:00~14:10	クラブ優秀賞について	ガバナーエレクト	笠倉 勉 (しもだて紫水)
14:10~14:40	戦略計画について	戦略計画委員長	高橋 賢吾 (水戸西)
14:40~14:50	地区分担金増額について 審議	地区資金委員	小倉 重則 (しもだて紫水)
14:50~15:40	ガバナー補佐方針	第1分区ガバナー補佐	茅根 修善 (北茨城)
		第2分区ガバナー補佐	加部東 孝浩 (大洗)
		第3分区ガバナー補佐	奥貫 守 (水戸東)
		第4分区ガバナー補佐	関 一美 (境)
		第5分区ガバナー補佐	得能 信人 (結城)
		第6分区ガバナー補佐	市村 文江 (つくばシティ)
		第7分区ガバナー補佐	北村 英明 (水海道)
		第8分区ガバナー補佐	加藤 健司 (鉾田)
15:40~16:30	総括委員長方針	クラブ奉仕委員会 総括委員長	井上 誠 (下妻)
		職業奉仕委員会 総括委員長	安 隆之 (水戸)
		社会奉仕委員会 総括委員長	黒木 雅宏 (水戸西)
		国際奉仕委員会 総括委員長	村上 義孝 (つくば学園)
		青少年奉仕委員会 総括委員長	宇留野秀一 (水戸南)
		ローターアクト委員会 総括委員長	楠 英夫 (土浦南)
		ロータリー財団委員会 総括委員長	大野 治夫 (つくば学園)
		米山記念奨学会委員会 総括委員長	岩田 光造 (水戸東)
16:30~16:40	質 疑 応 答		
16:40~16:50	総 評	ガバナーノミニ	清野 宏之 (土浦南)
16:50	閉会のことば	地区幹事	鷺谷 一彦 (しもだて紫水)
	点 鐘	ガバナーエレクト	笠倉 勉 (しもだて紫水)
	諸事お知らせ	司 会	

17:00~19:00	懇 親 会	司 会	篠崎 栄一 (しもだて紫水)
	挨 拶	ガバナーエレクト	笠倉 勉 (しもだて紫水)
	乾 杯	ガバナー	瀬戸 隆海 (水海道)
	お開き 「手に手つないで」	司 会	



ロータリー特別月間

月	テ - マ
7月	母子の健康月間
8月	会員増強・新クラブ結成推進月間
9月	基本的教育と識字率向上月間／ロータリーの友月間
10月	地域社会の経済発展月間／米山月間
11月	ロータリー財団月間
12月	疾病予防と治療月間
1月	職業奉仕月間
2月	平和構築と紛争予防月間
3月	水と衛生月間
4月	環境月間
5月	青少年奉仕月間
6月	ロータリー親睦活動月間

ロータリー特別月間

月	テ - マ
10月	ロータリー学友参加推進週間（7日を含む月曜からの1週間）
11月	世界インターアクト週間（5日を含む月曜からの1週間）
2月	ロータリー創立記念日（23日）／世界理解と平和週間（2月23日～3月1日）
3月	世界ローターアクト週間（13日を含む月曜からの1週間）

2026-2027年度 IM日程一覧表

分区	開催年月日	ホストクラブ	ガバナー補佐
1	2027年1月30日(土)	北茨城 R C	茅根 修善
2	2027年2月28日(日)	大洗 R C	加部東 孝浩
3	2027年2月20日(土)	水戸東 R C	奥貫 守
4	2027年2月14日(日)	境 R C	関 一美
5	2027年2月21日(日)	結城 R C	得能 信人
6	2027年2月13日(土)	つくばシティRC	市村 文江
7	2027年2月27日(土)	水海道 R C	北村 英明
8	2027年2月7日(日)	銚田 R C	加藤 健司



2026-2027年度 国際ロータリー 第2820地区 笠倉年度地区組織図





クラブ奉仕担当カウンセラー 大高 司郎 (高萩)	奉仕 P 担当カウンセラー 高橋 賢吾 (水戸西)	青少年奉仕担当カウンセラー 池田 正純 (牛久)	ローターアクト担当カウンセラー 中村 澄夫 (東海那珂)	ロータリー財団担当カウンセラー 大野 治夫 (つくば学園)	米山記念奨学会担当カウンセラー 瀬戸 隆海 (水海道)
クラブ奉仕 総括委員長 ◎井上 誠 (下妻)	職業奉仕 総括委員長 ◎安 隆之 (水戸)	青少年奉仕 総括委員長 ◎宇留野秀一 (水戸南)	ローターアクト 総括委員長 ◎楠 英夫 (土浦南)	ロータリー財団 総括委員長 ◎大野 治夫 (つくば学園)	米山記念奨学会 総括委員長 ◎岩田 光造 (水戸東)
会員増強・維持 ○熊木 善一 (古河)	中村 潤 (古河中央)	インターアクト ○菅原 光雄 (日立港)	飯田 大樹 (古河中央)	ポリオプラス ○倉持 悦子 (しもだて紫水)	米山寄付増進 ○齋藤百合子 (古河)
片岡 宗厳 (水戸)	征矢 亘 (日立)	百目鬼芳子 (しもだて紫水)	荒川 浩信 (日立南)	木村 英博 (つくば学園)	大野 佳典 (つくば学園)
篠原 純一 (境)	川島 利市 (鉾田)	溝口 哲矢 (土浦南)	皆葉 真治 (つくば学園)	鐵屋 竜朗 (つくばシティ)	米山学友 ○張 朔源 (茨城 RE)
衛星クラブ担当 杉山 吉彦 (下館さくらRSC)	社会奉仕 総括委員長 ◎黒木 雅宏 (水戸西)	中庭 彰 (水戸)	関 康彦 (水戸)	資金管理・推進 ○八木 健二 (日立)	大塚 芳行 (土浦)
山田 広美 (下妻さぬま湖畔RSC)	小野 智久 (日立)	橋本 壽郎 (東海那珂)	堀江 俊一 (下館さくらRSC)	瀬戸口 進 (つくば学園)	齋藤 優美 (つくば学園)
クラブサポート・新クラブ設立 ○鈴木 敏雄 (古河)	根本ひろ美 (水戸東)	大森 寛之 (水戸西)	坂東 利哉 (つくば学園RAC)	佐伯 優 (竜ヶ崎)	米山選考 ○佐谷 道浩 (古河東)
緒方 惟文 (水戸東)	小林 裕明 (水戸西)	青少年並びにライラ ○石塚 徹 (水海道)		補助金 ○椿 眞里 (北茨城)	中山 眞矢 (水戸西)
小島 信一 (しもだて紫水)	国際奉仕 総括委員長 ◎村上 義孝 (つくば学園)	広瀬 貴之 (つくば学園)		地区補助金担当 ○椿 眞里 (北茨城)	前田 成子 (玉造)
公共イメージ ○山崎 哲男 (水海道)	WCS・グローバル補助金担当 国際交流奨学金担当 録田 幸裕 (水戸南)	鈴木 淑登 (高萩)		申請 清藤 豊 (水戸東)	
吉田 慎二 (下妻さぬま湖畔RSC)	青少年交換 ○軽部 守彦 (下妻)	青少年交換 ○軽部 守彦 (下妻)		申請補 池田 一郎 (つくば学園)	
森 久仁子 (筑西きぬ)	友好地区担当 大谷 祥寛 (古河東)	飯泉 智弥 (つくば学園)		グローバル補助金担当 ○尊田 京子 (つくばサンライズ)	
	川上 勉 (龍ヶ崎中央)	中庭 浩実 (水戸南)		川上 英則 (水戸南)	
		清野 宏之 (土浦南)		ロータリー平和フェローシップ ○木村 英博 (つくば学園)	
				ロータリーカード推進 ○白岩 大樹 (牛久)	

◎総括委員長
○委員長

国際ロータリー第2820地区
2026-2027年度 公式訪問日程表

日	曜	7月	曜	8月	曜	9月	曜	10月	曜	11月	曜	12月
1	水		土	茨城RE	火	ひたちなか	木	土浦	日		火	
2	木		日		水	土浦中央	金	玉造	月	牛久	水	
3	金		月	岩井	木	水戸好文	土		火		木	
4	土		火	北茨城	金		日		水	水戸西	金	
5	日		水		土		月		木	下妻	土	
6	月		木	つくば学園	日		火	日立	金	鹿島臨海	日	
7	火		金	龍ヶ崎中央	月		水	常陸太田	土		月	
8	水		土		火	鉾田	木		日		火	
9	木		日		水	日立北	金		月		水	
10	金		月		木	水戸東	土	つくばサンライズ	火	竜ヶ崎	木	
11	土		火		金		日		水	高萩	金	
12	日		水		土		月		木	筑西きぬ	土	
13	月		木		日		火	古河東	金		日	
14	火		金		月		水	つくばシティ	土		月	
15	水	水海道	土		火		木	日立港	日		火	しもだて紫水
16	木	境	日		水		金		月		水	
17	金		月	那珂湊	木	鹿島中央	土		火	日立南	木	
18	土		火		金	古河	日		水	結城	金	
19	日		水	下館	土		月		木	笠間	土	
20	月		木	波崎	日		火	水戸	金		日	
21	火	友部	金		月		水	石岡	土		月	
22	水	日立中央	土		火		木	大洗	日		火	
23	木		日		水		金		月		水	
24	金		月		木	取手	土		火	土浦南	木	
25	土		火		金	勝田	日		水		金	
26	日		水	古河中央	土		月		木		土	
27	月		木	阿見	日		火		金		日	
28	火		金	水戸南	月	水戸さくら	水	東海那珂	土		月	
29	水		土		火		木	石岡87	日		火	
30	木		日		水	大子	金		月		水	
31	金		月				土	RAC合同			木	



会長エレクト・ラーニングセミナー出席報告

御 芳 名

所属クラブ

RC

職 業 分 類

会長エレクト・ラーニングセミナーにご出席くださいますてありがとうございました

2026年3月21日(土)

於：ホテルニューつたや

国際ロータリー第2820地区

地区幹事 **鷺谷 一彦**



国際ロータリー第2820地区 ガバナー事務所

〒308-0041

茨城県筑西市乙907-1 ホテルニューつたや3F
TEL:0296-45-4701/FAX:0296-45-4702
E-mail 26-27@rid2820.jp

